



IMS OneRoster™: CSV テーブル

バージョン1.0 最終版

発行日： 2015年6月3日

最新バージョン： <http://www.imsglobal.org/lis/>

知的財産権と配布に関するお知らせ

この文書の受信者は、コメント、関連する特許請求の通知、またはこの文書に記載されている仕様の実装によって侵害される可能性のあるその他の知的財産権の通知を提出し、サポート資料を提供するように要求されています。

IMSは、このドキュメントに記載されている技術の実装または使用に関連すると主張される可能性のある知的財産またはその他の権利の有効性または範囲、またはそのような権利に基づくライセンスが利用可能かどうかに関していかなる立場もとりません； また、そのような権利を特定する努力を行ったことを表明するものでもありません。IMS仕様の権利に関するIMSの手順に関する情報は、IMS知的財産権のWebページ：http://www.imsglobal.org/ipr/imsipr_policyFinal.pdf にあります。

Copyright © 2015 IMS Global Learning Consortium. All Rights Reserved.

製品またはサービスを開発するためのこの仕様の使用は、IMSのWebサイト：<http://www.imsglobal.org/license.html> にあるIMSのライセンスによって管理されます。

提案の要求を作成する際には必要に応じて、この文書からの抜粋を使用するすべての関係者に許可が与えられます。

上記で付与された制限付き許可は永続的であり、IMSまたはその後継者または譲受人によって取り消されることはありません。

この仕様はいかなる保証もなく提供されており、特に、非侵害の保証は明示的に否認されます。この仕様の使用は、実装者の独自のリスクにおいて全面的に行われるものとし、そのコンソーシアム、そのメンバーまたは提出者のいずれも、この仕様の使用に起因する直接または第三者のいかなる損害についても、いかなる責任も負わないものとしします。

コメントとフィードバックについては、：

<http://www.imsglobal.org/community/forum/categories.cfm?catid=59> のディスカッションに参加してください。

**© 2015 IMS Global Learning Consortium, Inc.
All Rights Reserved.**

商標情報: <http://www.imsglobal.org/copyright.html>
ドキュメント名: IMS OneRoster: CSV テーブル
改訂: 2015年6月3日

目次

1. はじめに
 - 1.1. ONEROSTER の概要
 - 1.2. 参照資料
2. CSV の概要
3. CSV のフォーマット

- 3.1. ORGS.CSV
- 3.2. USERS.CSV
- 3.3. COURSES.CSV
- 3.4. CLASSES.CSV
- 3.5. ENROLLMENTS.CSV
- 3.6. ACADEMICSESSIONS.CSV
- 3.7. DEMOGRAPHICS.CSV

4. 適合性テスト

[このドキュメントについて](#)

[貢献者のリスト](#)

[改訂履歴](#)

1. はじめに

1.1. OneRoster の概要

学習情報サービス (LIS) は、IMS グローバルによって開発された標準です。この規格は、さまざまな教育システム間での学生データ (人、コース、登録、成績に関する) の交換に対応しています。

K12コミュニティのニーズに対応するために、IMSは、LISコアプロファイルのプロファイルを引き受けて、K12のグレード転送に関する機能を拡大し、LISデータモデルを絞り込んでK12により適したものにし、学習ツールに名簿情報を提供したい人のためにcsv形式のファイルを提供しました。また、RESTまたはSOAPバインディングを介してOneRoster仕様が利用可能にしました。

OneRoster仕様[OneRoster、15]には、ベストプラクティスと実装ガイド、および公開名簿情報を含む複数の部分が含まれます。このドキュメントはv1.0の最終リリースであり、仕様のさらなる実装に基づいて変更されます。OneRosterへの適合はまもなく利用可能になります

1.2. 参照資料

[LTI, 10] *IMS Learning Tools Interoperability (LTI) v1.0*、[IMS グローバル](#)、2010年5月。

[LIS, 13] *IMS Learning Information サービス 2.0.1*、[IMS グローバル](#)、2013年7月。

[OneRoster, 15] *IMS One Roster 仕様 v1.0*、[IMS グローバル](#)、2015年6月。

2. CSV の概要

多くの学区は現在、学生情報をツールプロバイダーおよびLMS / LORベンダーに.csv形式のファイルとして提供しています。

ベンダーと名簿情報を交換するために引き続き.csvファイルを使用する必要がある地区の場合、OneRoster標準に対応する名簿データの形式の概要を以下に示します。

学区は、この文書に記載されているcsv形式の7つのファイルを準備することにより、クラス名簿をアップロードすることを選択できます。名簿は、インポートとエクスポートの両方に使用できます。

1. orgs.csv
2. users.csv
3. courses.csv
4. classes.csv
5. enrollments.csv
6. academicSessions.csv
7. demographics.csv

3. CSV のフォーマット

ファイル形式は、OneRosterプロファイルのコンマ区切り値形式（CSV）である必要があります。各フィールドは、各行の間のコンマと改行で区切られます。コンマを含むフィールドでは二重引用符を使用する必要があります。

- すべてのファイルが必要です
- ヘッダー行が必要です。
- 一部のフィールドは必須です。
- プライマリIDは下に赤でマークされています。これはファイルごとに一意である必要があります。

すべてのヘッダーフィールドは、下の表とまったく同じ順序で指定する必要があります。データの無いオプションフィールドは、CSVでは単に空にする必要があります。ヘッダーフィールドには、以下の表のフィールドヘッダーと同じ名前を付ける必要があります。すべてのファイル名とヘッダーフィールドでは大文字と小文字が区別されます。

CSVインポートは、バルクとデルタの2つの方法のいずれかで機能することが想定されています。

バルク処理では、着信したcsvファイルに「dateLastModified」および「status」フィールドにDATAを含めることはできません。つまり、各行について、これらのフィールドのいずれにもデータはなく、コンマの間に空のスペースがあるだけです。

インポートシステムは、この着信したデータをすべてのデータの参照バージョンとして表示する必要があります。つまり、以前にインポートされたレコードがこのバルクcsvファイルに表示されない場合、インポートシステムはそれらのレコードを内部的に非アクティブとしてマークする必要があります。その後、これらのレコードが将来のバルクファイルに表示される場合は、それらのレコードを更新してアクティブにする必要があります。

デルタ処理では、着信したCSVファイルの「dateLastModified」および「status」フィールドにDATAを含める必要があります。つまり、csvファイルの各行には、（行）データが最後に変更されたこととそのステータスを説明するデータが含まれている必要があります。

インポートシステムは、この着信したデルタファイルを参照データの変更として表示し、新しいデータの適切な変更、削除、挿入を行う必要があります。

空のデルタファイルは拒否されるか、何も変更されないように処理されます。

空のファイルであっても、すべての（7つの）フィールドを処理用に提供することをお勧めします。データを含めないファイルには、ヘッダーフィールドを含める必要があります。

CSVファイルの日付フォーマットは、RESTful APIの日付フォーマットとは異なります。このプロパティにはYYYY-MM-DD形式を使用してください。

3.1. orgs.csv

フィールドヘッダー	必須	フォーマット	備考
sourcedId	はい	string	組織の一意のID。SourcedIdは他のファイルで使用され、すべての組織で一意である必要があります。（たとえば、学区内の学校）。
status	いいえ	String	「アクティブ」 「非アクティブ」 「削除予定」。削除予定オブジェクトが、既に存在する場合、受信システムで削除される場合があります
dateLastModified	いいえ	Date	このレコードが最後に変更された日付。（形式はYYYY-MM-DD）
name	はい	string	組織の名前

type	はい	String	「学校」 「ローカル」 「状態」 「国の」
identifier	いいえ	string	NCES（国立教育統計センター）の学校/学区ID
metadata.classification	いいえ	String	「チャーター」 「プライベート」 「パブリック」
metadata.gender	いいえ	String	「女性」 「男性」 「混合」
metadata.boarding	いいえ	Boolean	学校が寄宿学校であれば真
parentSourcedId	いいえ	string	親組織のSourcedId

3.2. users.csv

フィールドヘッダー	必須	フォーマット	備考
sourcedId	はい	String	ユーザーの一意的ID。SourcedIdは他のファイルで使用され、すべてのユーザーにわたって一意である必要があります。
status	いいえ	String	「アクティブ」 「非アクティブ」 「削除予定」。削除予定オブジェクトが、既に存在する場合、受信システムで削除される場合があります
dateLastModified	いいえ	Date	このレコードが最後に変更された日付。（フォーマットはYYYY-MM-DDです）
orgSourcedIds	はい	String	このユーザーが属する組織のSourcedId。複数のIDが必須の場合は、二重引用符を使用し、コンマで区切ります。 （ほとんどの場合、ユーザーは単一の学校に所属することが予想されます）。
role	はい	String	「教師」、「学生」、「親」、「保護者」、「親戚」、「補助」、「管理者」
username	はい	String	ユーザー名
userId	いいえ	String	sourcedIdを使用しない場合に使用する、このユーザーの外部マシン読み取り可能なID（LDAP ID、LTI idなど）
givenName	はい	String	ユーザーの名
familyName	はい	String	ユーザーの姓

identifier	いいえ	String	人間が読み取れる意味を持つユーザーの識別子
email	いいえ	String	ユーザーのEメールアドレス
sms	いいえ	String	ユーザーのSMSアドレス
phone	いいえ	String	ユーザーの電話番号
agents	いいえ	String	このユーザーが関係を持つユーザーのSourcedId。複数のIDが必要な場合は、二重引用符を使用し、コンマで区切ります。 注：ほとんどの場合、これは親の関係を示すためのものです

3.3. courses.csv

フィールドヘッダー	必須	フォーマット	備考
sourcedId	はい	String	コースの一意のID。SourcedIdは他のファイルで使用され、すべてのコースで一意でなければなりません。
status	いいえ	String	「アクティブ」 「非アクティブ」 「削除予定」。削除予定オブジェクトが、既に存在する場合、受信システムで削除される場合があります
dateLastModified	いいえ	Date	このレコードが最後に変更された日付。（フォーマットはYYYY-MM-DDです）
schoolYearId	いいえ	String	コースが実施される学年。これはアカデミックセッションのsourcedIdです（以下を参照）
metadata.duration	いいえ	String	コースの期間の説明（2週間、1学期など）。
title	はい	String	コース名
courseCode	いいえ	String	人間が読めるコースコード
grade	いいえ	String	学年（例：9または範囲9-12）
orgSourcedId	いいえ	String	このコースが属する組織のSourcedId。これは、学区レベルの組織IDである可能性があります。

subjects	いいえ	String	<p>サブジェクト名。複数の件名が必要な場合は、二重引用符を使用し、カンマで区切ります（RFC 4180に準拠）。:</p> <p>例： 「化学、物理学」 物理 「音楽、ドラマ、詩」</p>
----------	-----	--------	---

3.4. classes.csv

フィールドヘッダ	必須	フォーマット	備考
sourcedId	はい	String	クラスの一意的ID。SourcedIdは他のファイルで使用され、すべてのクラスで一意的である必要があります。
status	いいえ	String	「アクティブ」 「非アクティブ」 「削除予定」。削除予定オブジェクトが、既に存在する場合、受信システムで削除される場合があります
dateLastModified	いいえ	Date	このレコードが最後に変更された日付。（フォーマットはYYYY-MM-DDです）
title	はい	String	このクラスの名前
grade	いいえ	String	学年（例：9または範囲9-12）
courseSourcedId	いいえ	String	このクラスがインスタンスであるコースのSourcedId
classCode	いいえ	String	このクラスを識別するのに役立つ人間が読めるコード
classType	はい	String	「ホームルーム」、「予定」
location	いいえ	String	クラスが物理的に配置されている場所の人間が読める説明
schoolSourcedId	はい	String	このクラスを教える組織のSourcedId
termSourcedId	はい	String	<p>クラスが教えられているacademicSessionsのSourcedId。複数の用語が必要な場合は、二重引用符を使用し、カンマで区切ります（RFC 4180による）</p> <p>例： 「1,2」 1 「1,4,8」</p>

subjects	いいえ	String	サブジェクト名。複数の件名が必要な場合は、二重引用符を使用し、カンマで区切ります（RFC 4180に準拠）： 例： 「化学、物理学」 物理 「音楽、ドラマ、詩」
----------	-----	--------	--

3.5. enrollments.csv

フィールドヘッダー	必須	フォーマット	備考
sourcedId	はい	String	この登録のID
classSourcedId	はい	String	クラスのID
schoolSourcedId	はい	String	学校のID
userSourcedId	はい	String	ユーザーのID（教師または学生）
role	はい	String	「学生」 「先生」 「親」 「保護者」 「親戚」 「補助」、「管理者」
status	いいえ	String	「アクティブ」 「非アクティブ」 「削除予定」。削除予定オブジェクトが、既に存在する場合、受信システムで削除される場合があります
dateLastModified	いいえ	Date	このレコードが最後に変更された日付。（フォーマットはYYYY-MM-DDです）
primary	いいえ	Boolean	クラスの教師1人に対してのみtrueに設定する必要があります。

3.6. academicSessions.csv

フィールドヘッダー	必須	フォーマット	備考
sourcedId	はい	String	このAcademySessionのSourcedId。AcademicSessionsは他のファイルで使用され、すべてのAcademySessionsで一意である必要があります。
status	いいえ	String	「アクティブ」 「非アクティブ」 「削除予定」。削除予定オブジェクトが、既に存在する場合、受信システムで削除される場合があります

dateLastModified	いいえ	Date	このレコードが最後に変更された日付。（フォーマットはYYYY-MM-DDです）
title	はい	String	採点期間の名前またはタイトル
type	はい	String	「学期」、「採点期間」、「学年」、「学期」
startDate	はい	String	開始日
endDate	はい	String	終了日
parentSourcedId	いいえ	String	このアカデミックセッションの親のソースID

3.7. demographics.csv

人口統計はオプションであるため、データプロバイダーは必ずしもこの情報を提供する必要はありません。もしそうなら、これは使用するフォーマットです。（人口統計が提供されていない場合は、空のファイル（ヘッダー付き）を送信する必要があります）。

フィールドヘッダー	必須	フォーマット	備考
userSourcedId	はい	String	人口統計が参照するユーザーのSourcedId。通常、これは学生です。
status	いいえ	String	「アクティブ」 「非アクティブ」 「削除予定」。削除予定オブジェクトが、既に存在する場合、受信システムで削除される場合があります
dateLastModified	いいえ	Date	このレコードが最後に変更された日付。（フォーマットはYYYY-MM-DDです）
birthdate	はい	Date	学生の生年月日
sex	はい	String	「女性」 "男性"
americanIndianOrAlaskaNative	はい	Boolean	
asian	はい	Boolean	
blackOrAfricanAmerican	はい	Boolean	
nativeHawaiianOrOtherPacificIslander	はい	Boolean	
white	はい	Boolean	

demographicRaceTwoOrMoreRaces	はい	Boolean	
hispanicOrLatinoEthnicity	はい	Boolean	
countryOfBirthCode	はい	String	語彙 – https://ceds.ed.gov/CEDSElementDetails.aspx?TermxTopicId=20002
stateOfBirthAbbreviation	い い え *	String	語彙 – https://ceds.ed.gov/CEDSElementDetails.aspx?TermxTopicId=20837 注：米国および米国領の場合、このフィールドは必須と見なす必要があります。 米国以外の場合、このフィールドはオプションです。
cityOfBirth	はい	String	
publicSchoolResidenceStatus	はい	String	語彙 – https://ceds.ed.gov/CEDSElementDetails.aspx?TermxTopicId=20863

4. 適合性テスト

IMS グローバルは、csvファイルの適合性テストを提供します。（未定）

このドキュメントについて

タイトル:	IMS OneRoster: CSV テーブル
編集者:	フィル・ニコルス (IMS グローバル)
バージョン:	1.0
バージョン日付:	2015年6月3日
ステータス:	最終版
概要:	このドキュメントには、IMS OneRoster仕様を構成するOneRosterのcsvファイル構造に関する情報が含まれています。
目的:	このドキュメントは、パブリックコメントとフィードバックに利用できません。
ドキュメントの場所:	http://www.imsglobal.org/lis

貢献者のリスト

次の個人がこのドキュメントの開発に貢献しました。:

名前	組織
デビッド・ガッパ	サファリ・モンテージュ
トム・イングラム	エスカンビア郡学区
マイク・カーストラ	デザイナー2ラーン

アンドリュー・クリッキー	HMH
リサ・マットソン	IMS グローバル
デビッド・メイエス	グウィンネット郡学校
アンディ・ミラー	ラーニング・コム
フィル・ニコルス	IMS グローバル (UK)
パドレグ・オヒセアダ	HMH
ユーペンドラ・ペネガラパティ	ピアソン
ジョージ・ペーロルト	オレンジ郡公立学校
ジェームズ・ペーロルト	F L V S
パトリック・ポーター	ヒューストン ISD
ウェンディー・ライエディー	サンガード K12
カート・ロムボット	ピアソン
アディチャ・スブラマニウム	スクーロジー
マーク・ウォールズ	グウィンネット郡学校
スタンリー・ワッツ	クラスリンク
マイク・ザッカーソン	インストラクチャー

改訂履歴

バージョン No.	リリース日	コメント
v1.0 パブリックドラフト	2015年2月12日	OneRoster 仕様の最初のリリース。
v1.0 最終版	2015年6月3日	メンバーコメントと実装実績がアップデートされました。

IMS グローバルラーニングコンソーシアム（「IMS グローバル」）は、科学的、実験的、および学術的なコラボレーションのみを目的として、この IMS OneRoster（「仕様」）に含まれる情報を公開しています。

IMS グローバルは、仕様の正確性または完全性に関していかなる保証も表明も行いません。

この資料は、「現状有姿」および「提供可能な限度」で提供されます。

仕様は常に予告なしに変更および修正される場合があります。

仕様に関する有用性、正確性、完全性を評価することは、お客様に関わるお客様の責任です。

IMS グローバルは、ご意見やご提案をお待ちしています。

<http://www.imsglobal.org> のWebサイトからIMS グローバルに連絡してください。

ドキュメント名: IMS OneRoster: CSV テーブル を参照してください

日付: 2015年6月3日



